



今月のにこりん

- ①第23回中川ふれあい福祉広場 ……………2～3
- ②災害ボランティアセンター訓練 ……………4
- ③共同募金に協力を ……………5
- ④お元気グループ紹介 ……………5
- ⑤いわゆりだより ……………6
- ⑥こんにちはヘルパーです ……………7
- ⑦ケアマネにゆーす ……………7
- ⑧PHOTOにこりん ……………8
- ⑨ボランティア情報 ……………9
- ⑩よろず伝言板 ……………10

ボランティア紹介「中川手話サークル」

中川手話サークルは、毎年ふれあい福祉広場でその年の流行歌などを手話の歌にして発表したり、参加者と簡単な手話の歌と一緒にする活動をしています。ふれあい福祉広場のほかにも図書館のお話の部屋でも活動しています。

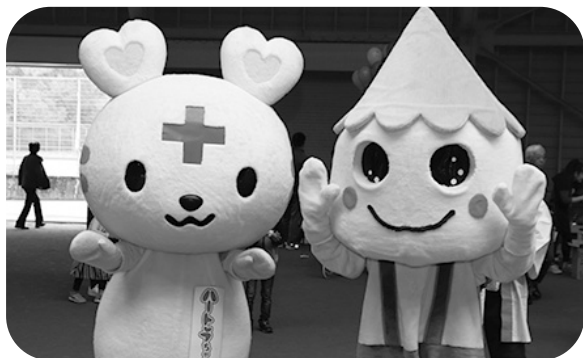
今回は、村発足60周年に合わせて村歌を3番まで手話にして発表しました。一つひとつの意味を考えて歌詞を手話で表現してみました。

がんばって発表した後は、毎年おいしいものを食べに行く忘年会を楽しみにしています。

社会福祉法人

中川村社会福祉協議会

社協報にこりんには、赤い羽根共同募金配分金と社協会費が使われています



着ぐるみも登場 にこりん(右)とハートラちゃん

オープニングセレモニー

オープニングセレモニーでは、中川西小学校6年生のマーチングが披露されました。
また、ステージにはみなかた保育園児のみなさんが描いた作品が飾られ、温かな雰囲気になりました。



中川西小学校6年生のマーチング

高齢者疑似体験、健康チェック、バルーンアート体験、福祉用具展示、わくわく消防団ランド、包括支援センター、共同募金のPR、聴導犬のPR、盲導犬のPRが行われました。

イベント体験コーナー



認知症サポーターキャラバンPR

ご協力、ありがとうございました。

第23回 中川ふれあい福祉広場

子供からお年寄りまでみんなで集い、ふれあい交流する中から共に生きる福祉の村づくりについて考える機会とすることを目的に、第23回中川ふれあい福祉広場が10月14日(日)サンアリーナで開催されました。
さわやかな秋晴れのなか、保育園児から小学生、中学生、高齢者、障がい者、福祉施設や福祉作業所の方、ボランティアスタッフなど約800名のほか多くのみなさんが参加し、ふれあい、交流を楽しみました。

売店コーナー

中川東小学校、中川西小学校、中川中学校や伊那養護学校、近隣の障害者福祉作業所の出店(アンサンブル、こまくさ園、障がい者就労支援センター)、新婦人の会のみなさんによる東北支援の出店、園芸福祉ビオラの会、リサイクルを考える会などボランティアグループの出店、つくっチャオやいろいろなど村内外から出店があり、五平餅、ソフトクリーム、ラーメンなどの販売がありました。
また、未使用の日用品を集めた日赤奉仕団のみなさんのバザーがおこなわれました。バザーの売上金は、50,484円になりました。



いちょうさくらショップ(西小)

ステージ発表

ステージ発表では、みなかた保育園児のリズム、陣馬太鼓子供連の和太鼓、ファミリーズの大正琴、フラ・レファのみなさんによるフラダンス、愛犬家さんのパフォーマンス、手話サークルの手話歌、中川女声コーラスの歌、中川中学校吹奏楽部の演奏、中川東小学校1、2年生によるダンス、3、4年生による魂こめて信濃の国などの発表がありました。

今回は、親愛の里コーポヘルメス藤和也演歌教室生のみなさんによる演歌発表、松川町の演歌歌手藤和也さんによる歌謡ショーが行われました。



東小4年生「魂こめて信濃の国」

た。参加者の皆さんも手拍子をしながら一緒に歌い、藤和也さんも会場をまわって握手でこたえてくださいました。



藤和也歌謡ショー

ビンゴ大会

今年も村内飲食店等にご協力いただき、閉会式の前にビンゴゲーム大会を行いました。子どもからお年寄りまで会場内のみなさんが参加して盛り上がり、ふれあい福祉広場の最後にすてきなお土産を持って帰ることができました。

ふれあい福祉広場ご協力のお礼

ふれあい福祉広場には、中学生44名を含む62団体延べ305名のみなさんにボランティアアスタッフとしてご協力いただきました。

バザー品の仕分けや会場準備、豚汁の野菜切り、司会進行、駐車場整理、介助、豚汁配り、売店他体験コーナーの補助やステージ補助、会場案内、片付けなど、ふれあい福祉広場の運営を力強く支えてくださいました。ありがとうございました。



豚汁おいしくいただきました

参加者・スタッフの感想

- 例年より多くの方が来られて活気のある雰囲気を感じました。(一般)
- 中学生が手伝いに来てくれて助かりました。(一般)
- いろいろな人とふれあえる本当よい機会だと感じました。(一般)
- 参加させていただき学ぶものがあり、楽しい時間を過ごすことができました。(一般)
- ボランティアの人とも仲良くなれてよかった。(中学生)
- どの生徒も満足感をもっており、地域であてにされる機会が身近にあることは大変ありがたいです。(中学校)

寄附のお礼

- 岡部商店様……………LPガス
 - 下平精肉店様……………豚肉
 - 三幸様、JA種園センター様…きのこ
 - 大島農園様……………野菜
 - すいれい豆腐様……………豆腐
 - 景品…いげたや様、ペリカン様、望岳荘様、江戸屋様、マルトシ様、めんまる中川店様、匿名様
 - 村民の皆様より……………野菜、バザー品
- ご協力ありがとうございました。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました

災害発生時に被災地のニーズと災害復旧のため訪れたボランティアを調整して、災害復旧にあたる役割を担う災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を10月27日(土)中川文化センター小ホール、サンアリーナで実施しました。運営スタッフ22名、地区代表、日赤奉仕団、民生児童委員、女性消防団53名が参加し、地域赤十字奉仕団研修推進委員を講師に避難所体験ゲームを行った後、実際の災害を想定してボランティアセンターの設置・運営についての訓練を行いました。

地域赤十字奉仕団研修推進委員

堀口 美鈴氏
柴田 房夫氏

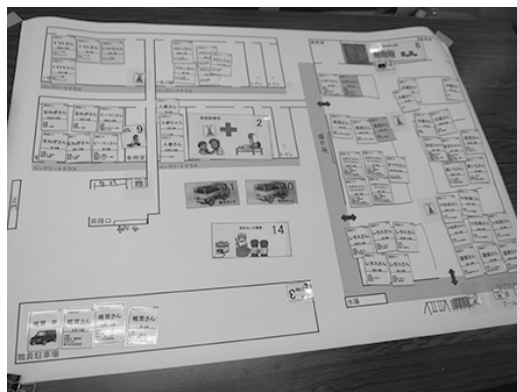
地区代表、奉仕団、民生委員、女性消防団を混ぜて7名ずつ11グループに分かれ、学校の校舎・体育館が書かれた模造紙を広げて避難所の運営委員になって、想像して避難所運営の模擬訓練を行いました。

講師が提示する次々に避難してくる家族を、「大きな声で泣く子供がいる」「インフルエンザにかかっている」「認知症の高齢者がいる」「妊婦さんがいる」「ペットを連れてくる」などそれぞれの家族の状況に合わせて、グループで話し合っ「大きな声で泣く子供がいる家族は教室にする」「インフルエンザにかかっている家族は別の部屋にする」「認知症の高齢者は親しい人と近くに分けていきました。



また、避難所に届いた毛布、食料、水、テレビなどの備品をどこに置くか考えて配置し、受付、掲示板はどこにするか、トイレの水はどうするか、女性の更衣室はどこにするか、医務室はどこにするか、喫煙所はどうするか、体育館をどのように区分けして通路にするかなど各グループで話し合いながら配置していきました。

最後に各グループの配置を見て回ると、それぞれ工夫した配置ができていました。



最後に講師の先生から避難所運営で気を付けることとして、プライバシーのない避難所という空間でセクハラが発生する危険が大きい、必ず女性を避難所の運営委員に入れて女性に配慮した避難所運営をすることがあげられました。



災害ボランティアセンターの流れ

① **受付**
駆けつけたボランティアを受付。(氏名、連絡先等を記入) ボランティア保険に加入し、センターが派遣したボランティアであることを示すビブスを着る。

② **マッチング(活動紹介)**
被災者からの要望とボランティアをつなげて、チームをつくる。

③ **資材配布、配車、送り出し**
活動に必要な資材を配り、現地まで送迎する。

④ **迎え入れ、資材返却、活動報告**
活動を終えたボランティアから人員、資材を確認して活動報告を受ける。(終了か継続かの確認)

参加者の感想

◎ 避難者の状況を判断して振り分けるのが難しかった。実際はもっと混乱しているなかで行わなければいけないので冷静に対応できるか不安です。

◎ 避難所運営のポイントを知ることができた。地区単位での実施も必要。

◎ 実際に動いてみてボランティアセンターの役割を知ることができた。

◎ 机上と実際は違うかもしれないが訓練しておくことは必要。



ふれあい福祉広場では風船を配布して共同募金をPRしました。中学生ボランティアの積極的な呼びかけにより、14,509円の募金が集まりました。

今年も10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まっています。皆様にご協力いただきました募金は、長野県共同募金会を通して地域福祉活動に広く活かされています。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



長野県共同募金会

- 社会福祉協議会を通して各種福祉事業の実施
- 自治体への防災用品の整備など

中川村共同募金委員会

- 戸別募金…村内各世帯からの募金
- 法人募金…法人企業からの募金
- 街頭募金…ふれあい福祉広場などイベントや村内設置の募金箱からの募金

中川村社協に配分された募金の使われ方

今年度の中川村社協への共同募金配分金は、第23回中川ふれあい福祉広場、老いの備え講座（7月29日開催）、障がい者スポーツ交流会（6月、9月、11月に実施）、介護者交流会（6月、9月、2月に実施）、いきいきサロンへの活動補助金、敬老の日に敬老記念品の贈呈、社協報「にこりん」の発行、三者共催講演会、一人暮らし二人暮らし高齢者世帯へのお楽しみ弁当、助け合いサービスささえチャオに使われています。

2回目の銀杏拾いとなったこの日は冷たい小雨の降るなか、地区内の男性10名ほどが集まり、一つひとつ丁寧に拾って袋に詰めていました。袋に入れて外側の皮を腐らせた後、高圧洗浄機で洗浄。天日干しをして11月に選果場に出荷します。出荷した収益金を維持管理に当てています。

今から35年前、地元の有志でいちよう並木をつくったことをきっかけに渡場憩いの広場が発足。役員16名を中心に地区全戸が参加して地区の美しい景観「いちよう並木」を守る活動をしています。春には剪定して肥料をまき、夏には草刈りを6回実施。秋には除草剤をまいて草刈りをし、10月に2回銀杏拾いをします。

地元の美しい景観を守る

村内各地区で元気に活躍しているグループ紹介。
今回は、渡場地区の渡場憩いの広場の活動を紹介します。

渡場憩いの広場(渡場地区)

「お元気グループ」紹介



今回、村発足60周年記念フォトコンテストで渡場のいちよう並木の写真が最優秀賞に選ばれました。観光客も大勢訪れるようになり、大切に育ててきたいちよう並木の景観を村内外のみなさんが楽しんで観てくれていることが地元渡場憩いの広場の誇りとなっています。

いわゆりだより

「デイサービスセンターいわゆり荘」の行事や出来事をご紹介します。今回は「敬老会」・「コスモスと道の駅ツアー」・「陣馬形山」・「口腔ケアのおはなし」の様子をご紹介します。

敬老会

9月17日の敬老の日に、いわゆり荘の敬老会を行いました。

昼食にはお赤飯やエビフライなどが入ったお祝い御膳がふるまわれ、いつもと違った雰囲気での食事で皆さん喜ばれていました。

午後は陣馬太鼓子供連、ミュージックタウン・プチ、ムーミンの会の皆さんが演芸に来てくださり、太鼓や歌、読み聞かせと手遊びを披露してくださいました。みんなで盛り上がりいい思い出になりました。



コスモスと道の駅ツアー

9月24日から9月29日の間にコスモス見学と道の駅「花の里いじま」に行きました。

ドライブをして近隣のコスモスや飯島のコスモスを見た後、道の駅に行き、みんなで五平餅を食べました。売店を見学しお買い物をする方もいらっしやいました。

ボランティアさんも大勢参加していただき、みんなで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

陣馬形山

9月26日に今「天空のキャンプ場」と言われ話題になっている陣馬形山にピクニックに行きました。

いわゆり荘ではお出かけツアーという個別で行きたいところにお出かける企画があり、陣馬形山を希望された方で行きました。

「なかなか行くことがないので久しぶりに来てうれしい。」と話されていました。

天気も最高で景色も良く、とても気持ち良かったです。



口腔ケアのおはなし

9月12日に地域包括支援センターの事業所巡回相談として、歯科衛生士さんがいわゆり荘に来てくださいました。

入れ歯の手入れの仕方や舌の磨き方等を模型を使いながらわかりやすく教えてくれました。

口腔嚥下体操もしてくれ、楽しみながら学ぶことが出来ました。



中川村社協ヘルパーステーション

簡単お手軽レシピ

— 里芋の磯部揚げ —

今回は里芋を使った料理を紹介します。
里芋は免疫力アップ、脳の活性化、便秘改善にも効果があります。ホクホクの里芋が美味しい一品です。



材 料 (2人分)

| | | |
|-----|-------|------|
| 里 芋 | | 8個 |
| 小麦粉 | | 大さじ4 |
| 青のり | | 小さじ1 |
| 水 | | 大さじ4 |
| 揚げ油 | | 適量 |
| 塩 | | 少々 |

- 作り方**
- ① 里芋の皮をむき2等分にし、レンジで5分加熱し柔らかくします。ボールに小麦粉、水、青のりを加えて混ぜ合わせ、里芋を加え衣をからめます。
 - ② 熱した油で里芋を揚げます。
 - ③ 火が通ったら完成です。熱いうちに塩を上から振りかけます。(お好みでめんつゆにつけても美味しいです。)



社協指定居宅介護支援事業所

ケアマネにゆ〜す

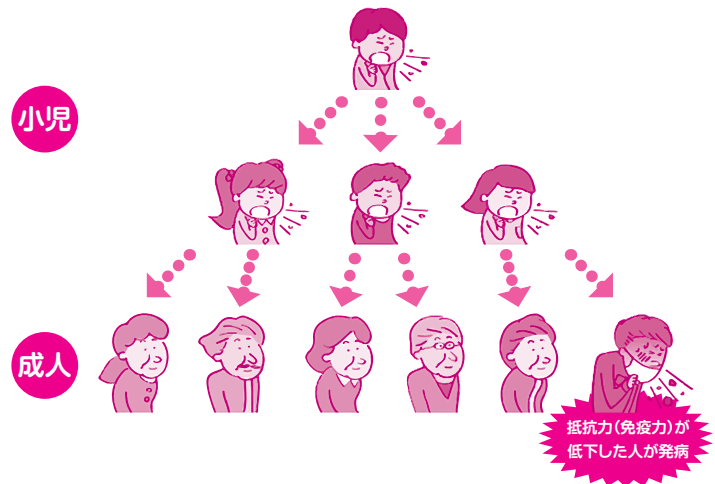
【肺炎球菌 とは、何ですか？】

肺炎はわが国の死亡原因の第3位となっています。
「肺炎球菌」とは、肺炎の原因の、もっとも代表的な細菌です。日常的に生じる成人の肺炎のうち1/4～1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。
主に幼児が持っていて、咳やくしゃみで飛び散り、免疫の弱くなっている高齢者が感染しやすいのです。
「莢膜(きょうまく)」と言われる厚い膜で覆われているため、体の免疫機能が働きにくいのが特徴です。
肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

【肺炎球菌ワクチンとは？】

「肺炎球菌ワクチン」は、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方が国の助成によって受けられる肺炎予防のワクチンです。

(定期接種の対象となる方は毎年異なるため、機会を逃さないようにご注意ください)



合同運動会

—かつら・はっぴーかつら—



晴天の下、かつらとはっぴーの合同運動会をし、皆さんでとても盛り上がりました。

笑顔とパワーに感動

—麦の家—



保育園、小学校、中学校の運動会や音楽会など沢山の行事に招いていただきました。

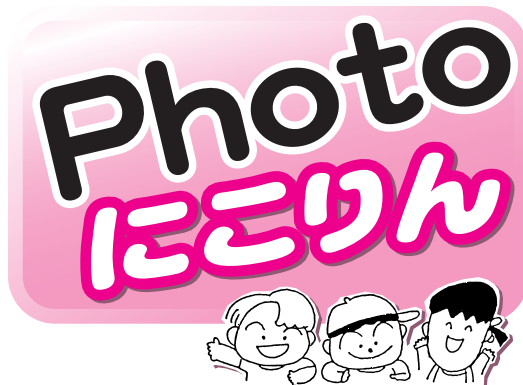
皆さんのほじける笑顔とパワーに、私たちも一緒に感動した楽しい1日でした。

笑顔いっぱい交流会

—かつら—



みなかた保育園児との交流会。皆さん笑顔いっぱいです。



さつまいも掘り日和

—野の花宅老所—



野の花では毎年さつまいもを育てています。今年も、収穫の時期。晴れた秋晴れの日、畑に出て土を掘り起こしました。今年はあまり出来がよくなって、ちょっとがっかりでしたが、それでも体を動かすのは、皆さん楽しかったようでよかったです。

公園でのお弁当は格別

—グループホームかぞく—



天竜川沿いの公園にお弁当を食べに出掛けました。

生憎のお天気でしたが美味しいお弁当を食べてきました。

第34回上伊那ブロックボランティア交流研究集会

上伊那郡内のボランティアの方、ボランティア活動に関心のある方が集い共に学び合うことで、ボランティア活動や地域活動を推進し、明るく誰もが住みやすい、いきいきと暮らせる地域づくりを目指し開催いたします。

- ◇日 時：平成31年1月26日(土) 午前10時～午後3時20分
- ◇会 場：駒ケ根市総合文化センター
- ◇参加費：無料(昼食代を含む参加費1,000円は社協負担 定員20名)

【内 容】

午前：講演会(講師・雄谷良成氏)

午後：分科会……下記から希望の分科会を選んでお申込みください。

- 第1分科会：読み聞かせ～子どもたちに本の楽しさを届けるボランティア
- 第2分科会：防災ゲームを通じて地域作りを考えよう
- 第3分科会：趣味や特技から広がるボランティア
- 第4分科会：カレンダーで「おしゃれ紙袋」作っちゃお!
- 第5分科会：音楽をみんなで一緒に楽しみましょう!
- 第6分科会：あかりこどもカフェ～高齢者の知恵と技を子どもたちに伝えよう～
- 第7分科会：笑顔あふれるシニア活動～シニアの役割と活動の魅力～
- 第8分科会：ボランティア活動の合言葉は～ごちゃませ!～
(*託児室の用意があります。費用……700円/時間 要予約)

◇申込み締切：平成30年12月17日(月)

【お申込み・お問合せ】中川村社会福祉協議会 ☎88-3552

ボランティア情報



障がい者『希望の旅』

10月28日

9月に予定されていた希望の旅ですが、大型台風接近に伴い予定を変更し10月28日に行ってきました。今回は愛知県の「リトルワールド」で各国の異文化に触れ、楽しむことができました。



日赤奉仕団活動報告

第23回ふれあい福祉広場が盛大に開かれました。日赤奉仕団活動として、バザーの値付け、豚汁の野菜切りと準備から、当日はバザーの販売、参加者の介助と様々な活動に携わり、力となっていただきました。



あじさい会 バス遠足

「箕輪ダムともみじ湖」

11月1日にあじさい会(独居高齢者の交流の会)が行われ、秋を満喫してきました。

回転ずしでお昼を食べた後、真っ赤なもみじを見て感動しました。



発行 社会福祉法人 中川村社会福祉協議会 ☎0265(88)3552 FAX(88)3553

Email:nakashah@bz03.plala.or.jp URL:http://nakagawas.jp

印刷 龍共印刷株

にこりんが行く ~第40巻~



いよいよ見えてきた40歳を前にし、少しだけイメージチェンジをしてみました。子供たちには不評：それでも自分では気に入っているのよ、良いかな？と思つてます。これからは、子供たちのことには負けず、好きなことをどんどん楽しめる40代にしていきたいです。

(田)

いわゆり

お知らせ

これからの村の福祉をいっしょに考えましょう

—中川村A型サービス資格取得者養成・研修会—

高齢化がさらに進み、一人暮らし・二人暮らし高齢者世帯が増加しています。

高齢者世帯の困りごとの上位は、「買い物」「通院」「ゴミ出し」「掃除」などがあり、見守りや生活支援の必要性が高まっている中、元気な高齢者や地域の住民の皆さんが担い手として活躍することが期待されています。

平成29年度から始まった介護保険の総合事業では、多様な担い手が生活支援のサービスを提供できるようになりました。

その担い手の資格を取得するための養成・研修会を平成31年1月下旬から行います。

受講料無料、6日間の養成・研修会修了で修了証書授与、中川村内の6介護保険事業所の見学体験もできます。

村内各地区で福祉を支える人材にあなたもなりませんか。

お問い合わせ：中川村社会福祉協議会 ☎88-3552

いわゆり荘の新しい職員です

介護員 原 麻美 (平成30年9月11日付)

寄附のお礼

次の皆様からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

- 伊南倫理法人会 様..... 寄附金
- 第31回中川村村民ゴルフ大会 様..... 寄附金
- 匿名 様..... お米30kg
- 遠山千代子 様..... もち米30kg
- 匿名 様..... 寄附金

10月25日、中川東小学校児童会から牛乳パック887枚とペットボトルキャップ21kgが届けられました。

牛乳パックは飯島町の「こまくさ園」が回収して、カレンダーやハガキなどの製品作りに役立てられ、ペットボトルキャップは専門業者によりリサイクル資源として売られ、売却益が「世界のこどもにワクチンを日本委員会」に寄付されます。



よろず伝言板

